

無人で自動運転を行う鉄軌道の事故防止に関する検討会（第2回）

概要

1. 日 時： 令和元年6月27日(木) 15:30～17:30
2. 場 所： 経済産業省別館302各省庁共用会議室
(東京都千代田区霞ヶ関1-3-1)
3. 委 員： (別紙のとおり)
4. 結果概要：

【議事（1）（断線以外の逆走の要因について）関係】

- 断線以外の逆走の要因として、横浜シーサイドライン及び交通安全環境研究所から、何らかの要因により回路の一部の継電器（リレー）が誤動作するなど、F線及びR線が入れ替わる事象が発生した場合に列車が逆走する可能性がある旨の報告があった。次回会合までに、各委員において逆走防止及びそれによる危険の防護について確認することとした。
- この確認が終了するまでは、引き続き、念のため指令による始発駅の出発監視の強化等を継続することを確認した。

【議事（2）（横浜シーサイドラインの再発防止対策案について）関係】

- 横浜シーサイドラインから、再発防止対策案について説明があった。
- これについて、他委員から、同様の対策を講じている等の観点から有効であるとの発言があった。
- また、横浜シーサイドラインから、これらの対策案について、併せて公益財団法人鉄道総合技術研究所による評価を実施中である旨の報告があった。

【議事（3）（その他）関係】

- 今回の事故以外のリスクに関し、次回会合において、リスク分析に関する専門家を交えた議論を行うこととした。

以上

無人で自動運転を行う鉄軌道の事故防止に関する検討会
名簿

	会社名	役職等
座長	東京大学大学院	工学研究科電気系工学専攻 教授 古関 隆章
委員	(独)自動車技術総合機構 交通安全環境研究所	交通システム研究部長 佐藤 安弘
委員	(公財)鉄道総合技術研究所	研究開発推進部次長 平栗 滋人 車両制御技術研究部長 山本 貴光
委員	横浜シーサイドライン	常務取締役技術部長 田中 耕
委員	東京都交通局	車両電気部長 奥津 佳之
委員	ゆりかもめ	執行役員技術部長 菅野 正平
委員	舞浜リゾートライン	安全マネジメント推進担当部長 小林 俊夫
委員	愛知高速交通	常務取締役運輸技術部長 加藤 寿
委員	大阪市高速電気軌道	取締役鉄道事業本部長 中村 和浩
委員	神戸新交通	取締役運輸技術部長 吉田 雅好
委員	国土交通省鉄道局	技術審議官 江口 秀二 技術企画課長 川口 泉 安全監理官 佐々木 純